

新型コロナウイルスの感染拡大を受けてのメッセージと 対話・協働への参画のお願い

今の危機や痛みを乗り越え、組織や社会、 そして一人ひとりのリーダーシップのあり方を進化させていくために

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により影響を受けられたみなさまへ、心よりお見舞い申し上げます。また、いままさに最前線でその拡大防止や感染患者への対応、医療崩壊危機を食い止めるべく活動をされている全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。

緊急事態宣言が全都道府県に発令される中、経済や社会への影響も広がってきています。長期化することで課題がさらに深刻化する可能性も高く、感染拡大の終息後も当面はその影響が残ると見られています。

危機と対峙し、未来を拓いていくための協働や共創へ

私たちは東日本大震災からの復興の取り組みの中で、大きな災害は社会の脆弱性を露わにすると同時に、そうした中から新たな社会のあり方を見出していく契機になることを学んできました。今回のCOVID-19の感染拡大も、私たち自身が、今の危機や痛みに向き合い、乗り越えると同時に、社会のあり方を進化させていくことが問われていると感じています。

既に、医療・介護福祉・教育・子育て・セーフティネット・雇用・地域経済などの領域で、私たちがこれまでご一緒させていただいてきた社会起業家や地域のリーダー、そして企業や行政の方々が、様々なアクションを始めています。その中には、彼ら自身も大きな影響を受け、経営面・事業面で困難な状況に直面しているケースもあります。

これから更に影響が拡大・長期化していくことは避けられません。私たちは、この危機と対峙し、未来を拓いていくための協働や共創が生まれるエコシステムづくりを、より多くのパートナーやサポーターの皆さまとともに進めて参りたいと思います。

起業家・リーダーを始めとするクロスセクターでの対話・創発の場づくり、資金・人的リソースの開拓や共創によるアクションの創出に取り組んでまいります。

◆私たちの取り組み方針（2020年5月1日現在）

- 1) 困難な状況に直面しながらも、意志を持って切り拓こうとする起業家・リーダーたちが、担う役割を再定義し、組織や社会のあり方を進化させることを後押しする。

- 2) 初期段階は医療現場やセーフティネットの取り組みへの支援や、サービスを止めてはならない領域の団体の活動持続性と経営力向上など、緊急性の高い領域に焦点を当てる。一方で中長期的なニーズを見据えたアクションやその準備も同時に進めていく。
- 3) ソーシャルアクションの新たな担い手となりうる民間企業の進化を後押し、セクターを超えた共創を加速させていく。

◆起業家・リーダーおよびパートナー・サポーターを対象とした対話・創発の場づくりと情報提供

自社や社会の未来を考えるためのヒントとなる情報や、対話の場をつくり、一人ひとりが「問い」を深め、アクション・創発が生まれていくことを促進していきます。

- 経営難に直面しながらも、意志を持って切り拓こうとする起業家・リーダーたちの取り組みの発信（DRIVE内でのコロナアクション記事の発信）
- 共創アクションの対話機会「未来創造DIALOG～今何が起きているのか、何を起こすのか」の開催（第1回2020.5.1）
- 社会課題・地域課題に取り組むリーダーたちへのアンケート調査「危機と対峙し、未来を拓いていくための協働や共創へ」の実施（107名回答）
- 社会課題・地域課題に取り組むリーダーたちによる相互事業相談会 等

様々な組織に働きかけ、今後のアクションに必要となる、資金・人的資源・情報などのリソースの開拓やマッチングを行っていきます。

- 事業改革・組織改革を進めるための人的資源（プロボノ／右腕人材等）
- 事業・プロジェクトへの初期投資となる多様な資金源の確保 等

◆既に生まれつつあるアクション

ここまでも、この危機に対峙する社会課題・地域課題に取り組む起業家・リーダーや、パートナー・サポーター企業の皆様との個別の対話や、多様な協働が始まっています。公表前の案件も含め、以下に一部をご紹介します。

- COVID-19の影響を受けて困りごとを抱える子どもやその家族を支援する団体を対象とした株式会社ミクシィの助成金「みてね基金」の企画・運営協力。国内53団体・海外14団体に約4億円を助成。他にも類似の取り組みについて助言・支援。
みてね基金 公募結果のお知らせ <https://media.mitene.us/archives/2018>
- J.P.モルガンの協賛により、より深刻な課題を抱えるひとり親家庭や生活困窮者世帯などの社会的弱者を支援する団体と連携し、緊急支援と中長期的支援を展開。
プレスリリース <https://www.jpmorgan.co.jp/country/JP/JA/detail/1320577678629>

- アメリカン・エクスプレス財団の助成により、緊急性の高い医療現場や福祉現場に対して医療従事者向けの物資を支援。社会起業家と連携。
- 株式会社デジサーチアドバタイジングとの協働で、車中泊をする医療従事者に対するホテルの提供を支援
「#医療従事者にホテルを」 <https://flying-penguin.jp/project/PM00000027/>
- 休眠預金等を活用した「子どもの未来のための協働促進助成事業」の助成先団体（現時点では内定のため非公表）に対し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）の追加助成を原資として、現場での緊急および中長期のニーズに対応する追加助成金提供について調整中。
子どもの未来のための協働促進助成事業 <https://kyuminyokin.etic.or.jp/>
- 地域団体が協働し、新型コロナの影響で自宅学習を余儀なくされる学生向けwebキャンパス「つながるキャンパス」を開設（共同事務局） <https://tsunacam.net/>
- ローカルベンチャーラボほか、起業家・リーダー向けの各種プログラムについては、提供価値や構成を再編集した上で実施（一部は本年度は中止）
ローカルベンチャーラボ <https://localventures.jp/>
- 株式会社ウエイクアップとの協働で、プロによるエグゼクティブ・コーチングを3か月間無償提供。より困難で不確実な状況に向き合う非営利組織の経営者を支援。
<https://drive.media/event/26356>
- 一般社団法人EO Tokyoとの協働により、EO×ETIC.共創基金を創設。EO参画経営者等から、子どもの食緊急支援プロジェクトに対する寄附を実施。
- 合同会社巻組と株式会社CommunityNurseCompanyと連携し、コロナで挑戦の機会を失った若者のために『Creative Hub』を拠点としたギフトエコノミーの社会実験を宮城県石巻市および島根県雲南市にて開始。（参加者も募集中）
クラウドファンディングページ https://motion-gallery.net/projects/creative_hub

◆寄付・協賛のお願い

ETIC.では、困難な状況に直面しながらも、意志を持って切り拓こうとする起業家・リーダーたちの進化を後押ししていくために、様々な機関との連携を進めて参りたいと考えています。また、ご寄付・協賛による活動のご支援もお願いさせていただいております。

◆お問い合わせ先

認定NPO法人ETIC. 担当：山崎光彦、岡村麻美
東京都渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMIビル4階 <http://www.etic.or.jp/>
mail: info@etic.or.jp